

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23536	
事業名	福祉除雪費						
評価担当課	所属名	保)総務部 総務課					
	課長名	高橋 俊範	担当者名	萩原穂高・長島康人	電話番号	011-211-2932	
施策名	主	雪と共存した暮らしの推進					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	高齢者世帯等の除雪が困難な世帯に対して道路に面した出入口部分の除雪と併せて安否確認を行う。				
		長期	高齢や障がいにより除雪が困難な方たちが冬期間地域で安心して生活できるよう支援する。				
	取組内容	公道に面する一戸建てに居住し、概ね500m以内に除雪を援助できる子又は子の配偶者が居住していない世帯で、自力での除雪が困難と認められる世帯に対して、市の道路除雪が行われた日に道路に面した出入口部分を除雪するとともに声かけ等の安否確認を行う。					
	実施結果	地域協力員3,435人により、5,400世帯に対して福祉除雪を実施した。					
事業実施における工夫点	地域協力員確保に向けて広報・啓発活動を行った。						
対象者	福祉除雪を必要とする方・地域協力員となる地域住民の方等			開始	平成15年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市福祉除雪事業補助金交付要綱						
他都市の状況	旭川市、小樽市、江別市など、道内の多くの市町村においても、類似した除雪サービスを実施している。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	94,649	97,000	96,830	97,000
うち特定財源	92,714	93,953	93,953	94,434
人工	0.5	0.5	0.5	0.4
人件費	3,600	3,600	3,600	2,520
計(事業費+人件費)	98,249	100,600	100,430	99,520
事業費の内訳	令和3年度決算	1 区保健福祉部時間外手当:1,830千円 2 協力員へのお礼状:29千円 3 市区社協事務費:10,903千円 4 協力員活動費:84,068千円		
	令和4年度予算	1 区保健福祉部時間外手当:2,436千円 2 地区への交通費10区分:130千円 3 市区社協事務費:15,968千円 ※うち4,396千円は実績精算 4 協力員活動費:78,320千円 ※全額実績精算 5 政策経費端数調整:146千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	利用世帯数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	5,233世帯	5,259世帯	5,400世帯	5,557世帯	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	利用世帯の満足度			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	90%	90%	90.40%	90%	
成果指標2	指標名	地域協力員の満足度			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	90%	90%	87.50%	90%	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	福祉除雪の利用対象世帯5,400世帯に対して必要な支援を実施し、利用者からの満足度は90.4%となっていることから、目的を概ね達成できている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	利用対象世帯に対して、地域協力員3,435人をマッチングし、全世帯に対して福祉除雪を実施したことから、事業規模は適切である。			
事業の実手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	福祉除雪事業は地域協力員によるボランティア活動であることに加え、見守りの一環として行っているものであり、地域福祉の推進を担う中心的な団体である社会福祉協議会が実施主体となることは適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	アンケート結果では、福祉除雪の利用世帯の満足度は9割を超えており、対象者のニーズに応えていると考えられる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	現在は利用対象世帯に対して必要な支援を実施できているが、今後は高齢化等により福祉除雪を要する世帯の増加や除雪を行う地域協力員の負担増加が見込まれることから、新たな担い手の確保が課題となっている。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	福祉除雪の利用世帯に対し必要な支援を実施することができたほか、アンケート結果において利用世帯及の満足度が9割を超えているため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 福祉除雪を必要とする世帯に対し、地域協力員による除雪を行うとともに、除雪の際に安否確認等を行うことで、地域における見守り活動を推進していく。また、当該事業以外の除雪制度との連携を継続して進めるとともに担い手確保に向けた広報活動を実施していく。			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 利用世帯数の増加傾向に伴い、予算規模は増加していく見込みである。		見直し効果額	0 千円